

6/29 玄謹

維新・馬場氏「参院は無駄の象徴」

日本維新的会の馬場伸幸代表は25日配信のインターネット番組に出演し、「国会改革」を口実に「国会議員は半分（よそ）の議院が無駄」などと述べ、「比例で十分。参院を削減するべきだ」と主張しました。

馬場氏は衆院との二院制になりて以来日本の議会制度は「同じ議案を二つ持たせようとする危険な主張です。

議院から維新が政権を取ったら「減税を行つか」と問われた馬場氏は、「小さな役所にして行政にかかるお金を絞り切る。したままで、債務審議を保障し、より国民の民意を反映させる」がでもやっているだけだ」「衆院は「衆議院がやつてこない」ことを参議院でやつてこないだけだ」「衆院あわ。議員の定数削減は、

国民の要求実現や行政に対する議会の監視機能を弱め、多様な民意の切り捨てにつながります。

維新は、大阪府議会・市議会で議員定数の削減を行っており、国政にも持ち込むとする立場です。

馬場氏は「シカハチック（劇的）な改革をする

議員は「無理だ」「反対勢力が納得しない」とやらないスタイルでは改革は絶対にできない」と主張。馬場氏は番組内で「改革」を連呼する一方で、裏付け（財源）を考えないと、となる財源論は一切語りきない」と答へば、（国政）ませんでした。

多様な民意の切り捨て